

ICT 教材・機器 活用事例

学部	小学部	学年等	グループ	教科	体育
授業名(単元名)	体づくり運動				
活用した場面	一斉学習	個別学習	協働学習		

1. 使用した ICT 教材・機器および使用した理由・方法

①iPad (Keynote) + プロジェクター

プロジェクターで Keynote を投影する。イラストや動画、Keynote のアニメーションを使って分かりやすくする。

②iPad (Keynote) + プロジェクター

写真で撮った児童の活動のようすを投影する。Keynote の描画機能で腕が伸びている部分に線を引き、分かりやすくする。

2. ICT 教材・機器を活用した活動場面

活動内容	指導上の留意点	準備物
○体作り運動 ・説明を聞く ・マットを運ぼう	・プロジェクターで説明用の Keynote を投影する。 イラスト、アニメーションで、内容やポイントを分かりやすくしておく。 ・やってみよう! 「腕に力を入れて引っ張ろう」	①iPad + Keynote + プロジェクター 画像 1 画像 2
・説明を聞く ・身体を支えよう 1 跳び箱、巧技台に足を 乗せ、10秒キープする 2 横に進む(一部の児童)	・プロジェクターで説明用の Keynote を投影する。 イラスト、アニメーションで、内容やポイントを分かりやすくしておく。 ・やってみよう! 「おしりの高さを意識しよう」 「腕を伸ばそう!」(キーワード「腕をピン!」) 大人用跳び箱、または児童用 2 つをつなげて行う。 ※巧技台では①を行う。	①iPad + Keynote + プロジェクター 画像 3
○振り返り	・その日の児童の写真を使って、「やってみよう!」ができているかを 全体で確認する。	②Pad + Keynote + プロジェクター

3. 活用の成果

- ・活動のようすや「やってみよう!」のポイントを、動画やアニメーションで提示することで、イメージを持てた児童が多かった。説明用の Keynote は、腕を伸ばす部分や力を入れる方向等、アニメーションを入れることで分かりやすくし、振り返りでは、写真で撮った児童の活動のようすを投影し、Keynote の描画機能で画面に書き込むなどして、「やってみよう!」ができているかどうかの確認を行うようにした。映像をしっかり見ている児童も多く、○(できている)か、×(できていない)か、を聞いた際も答えている児童が多かった。